

賀春



新春のご挨拶

台東区議会議長 木下悦希

新年、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、台東区議会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月には、上野の国立西洋美術館の世界遺産登録推薦、夏には、オリンピックやパラリンピックでの浜口選手や佐藤選手の活躍、秋には、浅草寺本堂落慶50周年や記念の「浅草大観光祭」、また、浅草寺の大わらじが縁での山形県村山市との友好都市提携、さらに「第1回したまちコメディ映画祭in台東」の開催など、下町台東区の文化や観光、また縁の方々や地域の魅力が大いにアピールされた年でした。

一方で、米国に端を発する世界的な金融危機が、わが国に深刻な影響を及ぼしており、経済動向は不透明感を増し、区民の皆様暮らしや区内の中小企業者の皆様の経営に暗い影を落としています。

私ども台東区民が、誇りとするのは、先人から受け継いできた「したまちの活気」です。不透明な時代こそ、世の中を元気にするような、活気に満ちた「賑わい」を創り出すことが、私どもの使命であります。

今年、かねてよりの念願であった上野中央通り地下駐車場が3月にオープンします。新たな地域活性化の拠点として、多くの皆様にご利用されるものと期待しております。

また、4月には23区初の区立病院である台東病院が開設します。地域医療の新たな拠点として、区民の皆様に安心してご利用いただけると思います。

台東区議会では、正副議長並びに委員会委員の任期を二年制としたことにより、昨年は、これまで以上に十分な審議を重ね、区民の皆様の声を区政に反映させてまいりました。

今後も私ども32名は、区民の皆様とともに、歩んで行く所存でございますので、区議会の活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、平成21年が、区民の皆さまにとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

